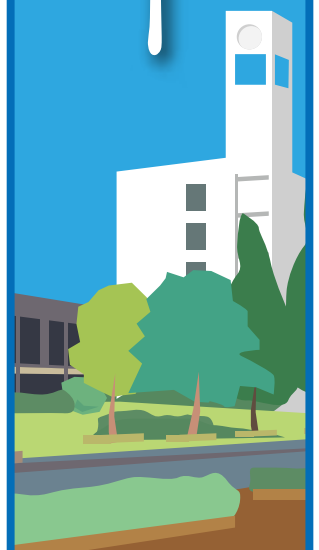




# みゆきレター



## 信念をもって一步一步前進

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。また、大学院を修了される皆さん、専攻科を修了される皆さん、修了おめでとうございます。教職員、在学生を代表しまして、心からお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、本学に入學してから四年間、大きく成長されたと思います。在学中、学修はもちろんのこと、サークル活動、ボランティア活動などに精一杯励まれました。その結果、多くの人が国家資格や教員免許状、専門分野の資格を取得されました。このような成果の背景には並々ならぬ努力があり、身に付けられた精神力は、将来必ず役に立つと確信いたします。

また、卒業生の皆さんの今日があるのは、保証人の方々の精神的そして経済的な支えがあつてのことであり、地域社会の多くの方々の深いご理解の中で、先輩や学友たちとの深い交わり、先生方の熱心な指導のお陰で、皆さんの豊かな人間性が培われました。皆さんは、このことをしっかりと肝に銘じ、感謝の気持ちで新たにしていきたいと思います。

さて、皆さんは、今まさに社会人として社会という大海原に一步を踏み出そ

うとしています。それは、家族や大学から守られた学生という立場から、自ら道を切り開いて社会の一員として生きていくための第一歩です。また、これは人生の中で大きな節目のときでもあります。卒業生の皆さんのほとんどが、就職されると思います。就職するということとは、社会の一員となることです。今まで置かれていた環境が大きく変わり、それに対応する必要があると思います。これは、自分自身を見つめ直すよい機会です。学生時代に築いてきたことを生かし、自分を再認識して、自信をもって新しい一步を踏み出していきたいと思います。

昨年から続いている新型コロナウイルスの感染防止のために、対面授業や課外活動が制限され、この一年間は不自由な学生生活を送られたことと思います。最近の数年間には、他にも気候変動による台風や豪雨の自然災害、国際情勢の変化など、今まで予想できなかったことが次々に起きています。皆さんも、社会に出ると、大学で学んだ理想からかけ離れた状況に遭遇することが多々あり、臨機応変に対応することが求められます。新しい問題を解決すること、それは大変なことですが、信念をもって粘

り強く取り組んでください。そして、大事なことは良い人間関係を作ることです。組織の中で仕事をすること、これは、信頼関係を作り、決められたルールの中で共同作業をすることにほかなりません。

このように、皆さんの歩く道は、平坦な道だけではないと思います。険しい坂道があり、大きな壁が立ちはだかるかもしれません。大学で学んだことを基礎にして、常に新しい知識を吸収し、的確な判断力をもって、そのときの課題に対応できるよう精進していただきたいと思ひます。そして、目標に向かって一步一步、自分自身のやり方で自信をもって前進してください。

最後に、皆さんの新しい人生の門出に、健康に留意され、福山平成大学の卒業生であることに誇りをもって社会のリーダーとして活躍されますよう祈念しまして、式辞といたします。

令和三年三月二十一日

福山平成大学

学長 坪井 始





## 「実社会に羽ばたいていく皆さんへ」

本日の令和2年度福山平成大学学位記授与式にあたりご挨拶申し上げます。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで経験したことのない日常の変化にも忍耐強く、的確に対応いただき、それぞれの目標に向かって日々精進され、明日より実社会に羽ばたかれますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい日常」の在り方が模索されるとともに、社会構造・産業構造が大きく変化するものと思われまふ。

この潮流の一つとして、DX（デジタル・トランスフォーメーション）というキーワードを耳にすることが増えているのではないのでしょうか。実はこの言葉が使われ始めたのは17年ほど前のことです。最近の経済産業省等の定義によると「ITの活用を通じて、ビジネスモデルや組織を変革し、企業の競争優位性を確立すること」を意味します。つまりDXとは、ITの活用により業務の効率化を図るという目的を超えて、ビジネスモデルや組織を変革し、自らの競争力を高めようとするところに主眼を置くものであると言えます。卑近な例を挙げますと、皆さんが携帯端末にダウンロードして聴いている音楽は、昔はレコードやCDなどを介して聴いていましたが、音楽の再生技術が変革するなかで、音楽に関する人々の行動様式が変わり、新しい技術、イノベーションを生み出した企業は業績を拡大し、遅れをとった企業は業績の縮小に繋がっています。このような社会の変化は、コロナ禍による新しい日常において、より急激に進展

するものと思われまふ。

一方で、新型コロナウイルス感染症が発生する前から、日本国内においては人口減少による生産年齢人口の減少問題・地域間格差の拡大、高齢化の進展による人生100年時代の到来等による社会構造・産業構造の変化への対応や気候変動によってもたらされる予想外の災害の発生など様々な問題が山積しています。これらの問題解決を目指し、持続可能な開発目標（SDGs）の達成が掲げられています。が、今後私たちはこれらの諸問題を自らの課題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの問題の解決につなげ、持続可能な社会を創造していくことが求められています。

卒業生・修了生の皆さん、大きな変化の時代を迎えた今、持続可能な社会の実現のためには、多様性を秘めた人材として社会で活躍することが期待されています。特に、今年度はコロナ禍によって想定していた大学生活とは異なり、予測不可能な様々な困難に直面したことでしょう。しかし、皆さんは努力と忍耐を重ねられ、本日無事に卒業を迎えられました。振り返れば、自分自身を見つめる機会の多い1年だったのではないのでしょうか。「この先の自分の人生はどうなるのか」「どうすれば道が拓けるのか」ということをこれまで以上に考え、行動し、その試行錯誤は、新しい自分を発見することに繋がったと思います。このプロセスは、皆さんが大学で取り組んだアクティブ・ラーニングそのものです。本日の卒業をもつて大学生としての学びには区切りが付きませんが、今後の輝かしい人生を過ごすためにも、この学びの姿勢を継続していくことが重要で

あります。皆さんは、大学で培われた知識・技術、取得された資格等に加え、「自分で情報を収集して、自分で考える」というアクティブ・ラーニングで身に付けた力を礎にして、これからも「揺るぎなく前進」されることを心より願っております。

そして福山平成大学の卒業生として、福山平成大学創設者の宮地茂先生が表明された、建学の精神と教育理念の一体化を表した「御幸五訓」、すなわち

- (1) 真理を求め、道理の実践を志向する。
- (2) 豊かな品性と魅力ある個性を伸ばす。
- (3) 不屈の魂を養い、紐帯性を培う。
- (4) 生命を尊重し、自然を畏敬する心情を育む。
- (5) 誠実と倫を胸に刻み、夢の実現に挑む。

の理念をこれからも胸に刻み、誇りをもって実社会に羽ばたいてください。本学在学中に得た恩師・学友との絆はこれからの人生において貴重な宝であり、自らを発展させるための糧としてくださるようお願いいたします。そして、いつでも気軽にこのキャンパスに足を運び、元氣な顔を見せていただければと思います。

最後になりますが、皆さんの門出にあたり、これまで慈しみ育てていただいたご家族への感謝の気持ちを大切にしてください。さよう願いますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。

令和三年三月二十一日

学校法人 福山大学  
理事長 鈴木省三





## 福山平成大学

### 令和二年度学位記授与式 祝辞



卒業生・修了生の皆様、御卒業、誠におめでとう  
ございます。皆様におかれましては、新型コロナウイルス  
感染症拡大の影響によつて、大学生活最後の  
一年は多くの困難があつたことと拝察いたしま  
す。こうした逆境を乗り越えて、晴れの日を迎えら  
れた皆様はもとより、支えてこられた御家族・保  
護者の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。ま  
た、これまで熱意と愛情を持つて指導にあたられ  
た学長をはじめ、諸先生方にも、深く敬意を表し  
ます。

さて、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響  
は、今もなお市民生活や経済活動に大きな影響を  
及ぼしています。これからの社会は、少子高齢化が  
さらに進行する中、コロナ禍で生じた個人の価値  
観や社会経済における変化によつて、AIやIoT、  
ビッグデータなどのデジタル技術の実用化が  
加速し、人々の暮らしや働き方が大きく変化して  
いくことが予想されます。

こうした中、卒業生・修了生の皆様は、人間性を  
尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育  
を行うという福山平成大学の建学の精神に基づ  
き、専門的な知識や技能のみならず、情報リテラ  
シーや語学力、コミュニケーション能力など、様々  
な教養を身につけられました。これまで高めてこ  
られた総合的な人間力は、これから社会に出られ  
たのち、必ず大きな力になることと思います。

福山平成大学におかれましては、地元福山の地  
域にねざした実践的な教育や少人数制の教育を  
発展させ、「個の力」を育てる学びをいち早く整え  
られ、これまで多様な人材を輩出し、地域の社会  
経済だけでなく、我が国の発展にも大きく貢献し  
てこられました。この度、御卒業される皆様も、地  
域の課題を解決できる人材として、また世界に貢  
献できる人材として御活躍いただけるものと確信  
しております。ここ福山で過ごされた日々には誇り  
と自信を持ち、皆様の夢の実現に向け、大いにチャ  
レンジしていただくことを期待しております。

そして、社会に出られてからも、福山市との関わ  
りを大切にしていただければ幸いです。皆様が夢  
を実現され、いつかまた、福山市のまちづくりに貢  
献していただけることを切に願っております。

最後に、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上  
げますとともに、福山平成大学の今後ますますの  
御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といた  
します。

令和三年三月二十二日

福山市長

枝 廣 直 幹





## 福山平成大学

### 令和二年度学位記授与式 祝辞



ご卒業誠にめでとうございます。卒業生の皆様方はもとより、ご家族をはじめ、先生方など関係者のお喜びもひとしおかと拝察し、心からお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、社会経済活動に多大な影響が発生し、残念ながら終息は見通せない状況にあります。我が国においても第2波、第3波と感染拡大の波が押し寄せるなか、経済活動のみならず、スポーツや音楽など、人々の心に楽しさや喜び、感動を届け、人生を豊かにするイベントの開催も制約され、皆様の学生生活にも大きな影響を及ぼしているのではないかと、心を痛めております。健全な社会を維持、継続していくためにも、一刻も早くコロナ禍が終息することを願ってやみません。

我々中小企業においても、経済が急激に減速するなか、生産性向上に向けたデジタル化の遅れなどの経営課題が浮き彫りとなり、AIやIoTの活用や5Gの実用化などの技術革新への対応に加え、持続可能な開発目標（SDGs）の達成など、取り巻く環境は激変のなかにあり、個人の普段の生活や仕事のスタイルにまで変化の波が押し寄せ、社会は大きく様変わりしようとしています。このようななか、中小企業が、地域の持続可能な発展の担い手として成長を続けていくためには、専門的な知識だけでなく技能・コミュニケーション能

力など総合して発揮する人間力が重要であり、各企業はそうした人材を即戦力として求めております。

福山平成大学におかれましては、平成6年の開学以来、地元企業と連携したインターンシップや地域連携活動を通じ、座学だけでは得られない人間力や判断力の養成に注力され、地域の未来を担う優秀な人材を数多く産業界に送り出し、地域経済をしつかりと支えて頂いております。

皆様の諸先輩方は、当地域をはじめ各地の企業で立派に職務を果たされ、高い評価を受けておられます。先輩方が切り開いてこられた信頼と実績をもとに、皆様はそれぞれの立場で、立派な職業人として日本経済の発展や、地域の振興に貢献していただけるものと確信いたしております。

終わりに、皆様が難局を乗り切る勇氣と情熱を持ち、健康に十分留意され、素晴らしい活躍をされますようお祈り申し上げますとともに、貴大学の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和三年三月二十二日

福山商工会議所

会頭 林 克 士



# 門出を祝して卒業生に贈る言葉

## 若い力を新しい社会に

経営学部長 川久保 和雄



みなさん、ご卒業おめでとうございます。みなさんは今、これから社会に立つ門出に際して、それぞれの夢と希望に胸をふくらませていることでしょう。大学4年間に身につけた力を活用し、さまざまな困難に立ち向かって、自信を持って前進していただきたい。

これまでみなさんは、「学生」として親や先生たちに守られ、社会人となるまでの準備期間として過ごしてきましたが、これからは自立して1人の社会人として社会的責任を持つて行動する必要があります。このことを自覚して、ぜひ自信と勇気を持って、社会に飛び込んで行ってください。これからの新しい社会を作り出していくみなさんの活躍を期待しています。

現代社会は大きく変化しつつあります。AI（人工知能）やロボットなど、高度な技術の進歩が著しく、10年後、20年後の社会がどうなっているか、想像もつきません。こういう時こそ、新しい社会を作る原動力として、みなさんの若いチャレンジ精神・柔軟な発想力が求められています。

新しい社会の実現には、みなさんの若い世代でないとできないことがたくさんあります。例えば経営面ではIT化を通じて、DX（デジタル・トランスフォーメーション）による企業変革に取り組み企業も増えてきています。このような新しい技術の応用による変革には、若い力・フレッシュな発想・柔軟性が求められます。思っ存分若さを活かして活躍してください。

もちろん若さだけではなく、幅広い知識・基礎力が要求されるためには勉強を継続することが重要です。特に20代は旺盛な吸収力や優れた柔軟性で、勉強に最適・重要な年代と言われています。20代での努力・勉強で、その後の人生が決まるといっても過言ではありません。どうか卒業後も引き続き勉強を続けていくことを、強く願っています。

みなさんは今、新しいスタートラインにいます。人生100年時代ともいわれる、これからの長い人生のスタートにあたって、ぜひ将来の目標・計画を今のうちに十分考えてください。今から10年後、20年後、30年後に、自分がどういう人間にになりたいのか、そのためには今何をすればいいのか、十分考えてください。それも漠然とした夢だけでなく、具体的な目標を設定し、それに向かって努力を重ねていただきたいと思います。私たちはみなさんを、これからも心から応援しています。最後にみなさんの今後のご健康・ご多幸を心からお祈ります。

## 令和2年度卒業生に贈る言葉

福祉健康学部長 永井 純子



皆さん、ご卒業おめでとうございます。福山平成大学での学生生活はいかがでしたか。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、学生の皆さんも教職員も本当に大変でした。4年間、いろんなことに積極的に取り組むことができた

ました。福祉健康学部では、それぞれの学科における専門的な知識・技能・態度・思考力・判断力・人間力等の素養を身につけ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学士（福祉学、こども学、健康スポーツ科学）の学位を授与しています。

ところで、皆さんはレジリエンス（resilience）という言葉を聞いたことがあるでしょうか。レジリエンスとは、元々は物質が元の形状に戻る「弾性」のことを意味しましたが、その後、回復力、復元力、また環境の変化に對して動的にに応じていく適応能力のことを指すようになりました。ブライアン・ウォーカー教授は次のような比喻を持ち出しています。「あなたは、港に停泊しているヨットの中でコップ一杯の水を運んでいるとする。同じことを荒れた海を航海している時に行ったらとすると、港に停泊している時にコップを運ぶのは簡単である。この場合はできるだけ早く、早すぎないように運べばよいのであつて、その最適解は求めやすい。しかし、波風が激しい大洋を航海しているときには、早く運べるかどうかなど二の次で、不意に大きく揺れる床の上で転ばないでいることが重要になる。あなたは膝を緩め、突然やってくる船の揺れを吸収し、バランスを取らねばならない。海の上での解は、妨害要因を吸収する能力を向上させることをあなたに求める。即ち、波に對するあなたのレジリエンスを向上させることを求めるのである。」

これからは、人生の荒波に採まれることもあるかも知れませんが、そんな時、卒業論文の作成や授業、クラブ活動等で頑張ったことを思い出してください。失敗することは実は非常に有益なことなのです。肝心なのはそれで潰れないことなのです。いかなる困難の中にもチャンスがあるはずですから、いろんな人に助けてもらいながら結構です。率先して状況を改善する行動を起こしましょう。また、教室を離れても学ぶことを続けて下さい。学ぶ意志や欲求を持ち続けて下さい。いつかきつと成功する日が来ると信じています。最後に、一生懸命頑張ると息苦しくなる時期があります。そんな時はいつでも大学に来て下さい。私たち教員一同はいつまでも皆さんの幸せを心から祈っています。

## ご卒業おめでとうございます

看護学部長 木宮 高代



晴れの門出を迎えられた看護学部看護学科第11期生の皆さん、保証人の皆様から心からお祝い申し上げます。2020年は未知の新型コロナウイルス感染症の拡大という未曾有の事態に直面しました。そのなかで、第11期生の皆さんの自己の感染予防対策・健康管理の徹底をしながら実習、勉学に取り組む姿は、まさに看護専門職の姿を映していました。

現在の日本は世界に先駆け超高齢社会となり、多様化する保健・医療・福祉に對応できる看護専門職が求められています。そしてその活躍の場は拡大し、役割の推進などが行われています。本学看護学部は教育理念のもと、皆さんは看護専門職に必要な学問的知識と技術の習得、そしてそれを常に継続し続ける自主的な学びを行ってきました。

今、ここに質の高い看護・保健医療を実践する看護専門職として、第一歩を踏み出すことになります。初めの一步は小さいかも知れませんが、社会で仕事をしていく中で、本学での学びで身につけられたことを誇りに、情熱と努力で培った看護学の知識や看護技術を活かし、地域における医療・保健として福祉向上のために自分の力を信じ、未来の可能性に向け挑戦し続けてください。社会人として生きていく中で様々な試練や困難にあたることを思います。そのような時には、臨地実習などでいつも励まし慰め合った仲間がいること、私たち教員が応援していること、そして思い出せる共有できる大学がここにあることを思い出してください。これからは、自分自身で決めた道の中で、自他ともに認められる存在となり、それを維持していくために、これから生涯にわたって自分で学び、自分で解決していくという自己学習、自己研鑽が継続的に求められます。時には戸惑うこともあると思いますが、そんな時こそ丁寧に時間をかけて取り組むことが真の看護専門職です。社会人としての実生活もはじまります。他人に依存することなく、自分自身の考えに基づいて行動してもらいたいと思います。また、さまざまな人々との関わりでは、自分の精神や感情を制御していくことも忘れてはなりません。常に患者さんの心に寄り添い、共感することを忘れないでください。何年かを経たぬうちに、臨床現場で活躍されている皆さんと出会えることを楽しみにしております。

また、助産学専攻科の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これからは助産師として大いに活躍され、看護専門職の発展に寄与されますことを期待するとともにご多幸をお祈りいたします。医療のスペシャリストは時代の技術の変遷が速く、少しでも勉強を怠ると取り残されてしまいます。ぜひ日々の変化に負けず、努力を毎日重ねて、社会の要望に応え世の中に貢献されることを期待しています。



# 大学生生活を振り返って



## 大学生生活を振り返って

こども学科

小田原 響

四年間を振り返ると、時の流れの速さに驚くとともに、大学生活がとても充実していたことに気付かれます。私の大学生活は一言で言うところ「笑いあり、涙あり」の生活でした。その中でも特に心に残っていることは、小学校での教育実習と教員採用試験の二つです。

教育実習では、実際に子どもたちの前で授業をしました。最初に行った授業では、前日の放課後の模擬授業が上手いから、「このままでは、子どもたちに迷惑をかけてしまう。」と焦りと悔しさから涙が溢れました。しかし、心配しながら迎えた本番の授業では子どもたちがしつかりと私の話を聞き、よく考え、たくさん手を挙げて発表してくれました。まさに子どもたちが私を助けてくれた時間でした。最終日には、学級の子どもたちがお別れ会をしてくれ、子ども一人一人から手紙をもらいました。手紙は今でも楽しかった思い出として、大切にもっています。先生方や子どもたちのお陰で、この実習で教員になる立場として成長することができたと思います。

教員採用試験には「絶対に小学校の先生になる。」という強い気持ちで臨みました。ただ、試験対策では新型コロナウイルスの影響で面接の練習はオンラインで行わざるを得なくなっていました。また他にも十分な対策ができず、試験もどうなるかわからない状況から、とても不安になりました。しかし、できる限りの対策を行い、最善を尽くしました。その結果、無事合格することができました。

小学校教諭としての仕事や使命は、将来、社会に貢献し、幸福な人生を送るために子どもたちに「生きる力」を身につけていくことです。現場に出ると大変なこともあると思いますが、子どもたちの未来のために頑張っていきたいと思います。大学での学びは、これからの私の人生の支えになると思っています。私一人の力では、きつとここまでくることはできませんでした。今まで私を支えてくださった先生方、友人、家族、そして関わってくださった全ての方々に感謝しています。四年間本当にありがとうございました。

# 四年間のメッセージ

## 大学生生活を振り返って

経営学科 内海 玲太



私は四年間、福山平成大学に通って、本当に良かったと思っています。入学して間もない頃のオリエンテーション合宿やその後の学生生活を通じて、個性豊かな多くの友人ができました。先生方も親しみやすい方が多く、様々な相談に親身に乗っていただきました。特に、ゼミの小玉先生には卒業論文の執筆をはじめ、丁寧に指導をいただきました。このように、様々な人と関わり、励まし、はげまされながら、充実した四年間を過ごすことができました。この場を借りて、先生方や友人に感謝したいと思います。ありがとうございました。

印象に残っているのは、二年次の御幸祭での屋台の出店です。私たちのゼミでは、フライドポテトを販売しました。来客数の予測、予算や役割分担など、どうすればお店が上手く回るのかについて、皆で考えました。また、お店の看板を作ったり、容器を考えたりしながら、皆で意見を出し合うのが楽しかったのは、特によく覚えています。皆で協力して何かをやり遂げる作業は社会に出て重要なことだと思います。大学生活の中で、それを経験できたことは、大きな財産になると思います。

学業に関しては、とにかく真面目でいることに徹しました。課題や出席を守ることができ、それを強みとして、就職活動を有利に進めることができました。おかげで、第一志望の会社に入社をいただくことができました。とても嬉しく思います。後輩の皆さんには、自分の武器を身につけ、コロナに負けず、就職活動を頑張ってくださいと思います。

四月からは社会人として働くことになりました。正直、学生の頃が恋しくなるとは思いますが、社会人として気持ちを切り替えて、頑張っていきたいと思っています。最後に、これからの福山平成大学が、より素晴らしい大学になることを祈っています。

## 4年間の思い出

福祉学科 後藤 真菜美



私は、子どもの頃から障がい者福祉施設のボランティアに行っていました。その頃は福祉の分野での就職は考えていませんでした。高校の先生の勧めもあり、本学の福祉学科に入学することに決めました。

在籍していた介護福祉コースでは、1年生の夏から実習が始まります。はじめは、利用者さんとのコミュニケーションや介護技術の見学が主でしたが、実習の回数を重ねるごとに、介護技術の実践や個別支援、地域福祉なども学ぶことができました。今思えば、実習はつらい時もあり、辞めたくなることもありましたが、先生や先輩方からの助言や一緒に実習を行う仲間との支えがあり乗り越えることができました。そして、先生の勧めもあり、将来障がい者福祉分野で働くために介護福祉士と社会福祉士の両方の資格が必要と考え、2つの資格取得にチャレンジしました。

資格受験に向けた勉強の時期が、ちょうどコロナ禍にありました。先輩たちのように、みんなで集まって勉強をしたかったのですが、それに堪え遠隔授業を受けたり、1人自宅で勉強したりと、耐えた1年間でした。とてもつらい時期でしたが、この経験は1人で物事に取り組む力、最後までやりきる力を身につけることに役立ったと思います。また、人と人がつながる大事さについても、これほど意識した時期もなかったように思います。

私は、出身地の事業所に就職が決まっています。これから、地域に貢献するために、これまで4年間の大学生活で学んだ経験を糧に取り組んでいきたいと思っています。

## 1461日の挑戦がくれた出会い

健康スポーツ科学科 水成 昂聖



四年前の春から瞬間に時が過ぎ、今日卒業の日を迎えます。

私がこの四年間でひたむきに取り組んだことは、部活動です。私は二年次から陸上競技種目の中の十種競技に挑戦しました。様々な種目に取り組む中で「理論的に効率の良い動きは何か」を考え、そのために身体をどのように動かせばよいかを突き詰めていく日々が続きました。行き詰まった時には、監督やチームメイトに意見を求めるだけでなく、他大学の練習や県主催の練習会に参加し、試行錯誤を重ねました。部活動を通して、多くの人に出会った経験、人と関わる楽しさや高め合う仲間の存在が、己を強くすることを教えてくれました。四年間をかけて、全種目の自己記録を更新できたことはとても嬉しく思います。

また、スポーツの各専門諸学を学ぶと共に、教職分野の勉強にも勤しんできました。知らなかったことに触れることが楽しく、大学での講義は、いつも前のめりで受講していました。私は疑問に思ったことがあれば研究室に足を運び、納得するまで先生に付き合っていたら、解決したこともありました。先生方と対話する中で、物事を一方向からではなく、多角的に見る機会が増えたことで、柔軟に物事を捉える力が身につきました。

この四年間で経験したことは、全てが貴重な体験です。卒業後は教員となり、子どもたちを教える立場になります。本学で学んだことをひとつでも多く現場で生かせるよう精進していきます。

最後になりましたが、手厚くご指導してくださった先生方や、お世話になった方々、また、ここまで支えてくれた両親がいたからこそ現在の私があります。この場をお借りして感謝申し上げます。新天地でも頑張ります。

## 4年間の思い出を胸に

自分の選んだ職業の世界で

看護学科 宮本 佳呼



大学に入学して、あっという間に4年という月日がたち、私たちは卒業を迎えました。4年間を振り返ると、初めて福山平成大学の正門をくぐった日を昨日の日のように思い出します。この4年間の大学生活では、多くの出会いがありました。他県から入学してきた同級生との出会いはもちろんのこと、実習場所を担当になった看護師さんや患者さんなどをはじめ、地域のいろいろな方々と交流する機会に恵まれました。初めは戸惑うこともありましたが、次第に多くの友人ができました。実習での相手によって関わり方を考え、相手の気持ちに寄り添いながら良好な関係を築く経験は、看護にかかわらずこれからの人生でも役立つ大切な経験だったと思います。

特に2年生からは、看護の専門分野の授業科目が増え、新たな内容をひとつずつ覚えていかなければならないことから、テスト前などは大変でしたが、仲間と励まし合い図書館や学校内で一生懸命勉強したことは、今では大切な思い出です。看護の専門職としての知識や技術はもちろんのこと、仲間と協力し支え合っていく力やコミュニケーション力なども学ぶことができました。3年生では、これまで学んできた全てのことを活かしながら実習の場で看護展開していききましたが、時には思うように出来ず、つまづくこともありましたが、温かくサポートしてくださった先生方、ともに励んだグループメンバー、いつも応援してくれた両親の支えのおかげだと感じています。4年間本当にありがとうございました。

現在、新型コロナウイルス感染症など、医療現場が大変な状況にあり不安もありますが、今まで学んできたことを活かして看護師として成長できるように今後も頑張っていきたいと思っています。







## 令和2年度 卒業者数

| 学 部         | 学 科               | 卒業者数 |
|-------------|-------------------|------|
| 経 営 学 部     | 経 営 学 科           | 35名  |
| 福 祉 健 康 学 部 | 福 祉 学 科           | 25名  |
|             | こ ど も 学 科         | 43名  |
|             | 健 康 ス ポ ー ツ 科 学 科 | 100名 |
| 看 護 学 部     | 看 護 学 科           | 78名  |
| 計           |                   | 281名 |

| 研 究 科                 | 専 攻                 | 修了者数 |
|-----------------------|---------------------|------|
| ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科 | ス ポ ー ツ 健 康 科 学 専 攻 | 3名   |
| 看 護 学 研 究 科           | 看 護 学 専 攻           | 1名   |
| 計                     |                     | 4名   |

| 専 攻 科       | 修了者数 |
|-------------|------|
| 助 産 学 専 攻 科 | 6名   |

|     |      |
|-----|------|
| 合 計 | 291名 |
|-----|------|



## 令和2年度 学生表彰者一覧

このたび、「学生表彰」として学長賞に次の学生が選ばれ、令和2年度学位記授与式において、坪井学長から表彰状と副賞が手渡されました。

学長賞は「学業部門」において、特に優秀な成績を修めた学生に授与されるもので、今年度は、5名が表彰されました。

### 学 長 賞

|           |         |
|-----------|---------|
| 経営学科      | 内 海 玲 太 |
| 福祉学科      | 岡 田 莉 歩 |
| こども学科     | 河 相 杏 実 |
| 健康スポーツ科学科 | 岡 本 紗 綾 |
| 看護学科      | 石 川 萌 花 |

編 集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)

発 行 福山平成大学

発行日 2021年3月21日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001 (代表) FAX 084-972-7771 <http://www.heisei-u.ac.jp/>